○ 東京都障害者総合美術展に出展しました！

絵画工房たゆたうは、2015年8月のスタートから2年が過ぎました。不慣れな「アート」の世界でしたが、少しずつアトリエのカタチが整ってきました。現在では、40名の方々が月に1回のペースで通って、思い思いの制作に取り組んでいます。

夏の風物詩ともいえる東京都障害者総合美術展は、今年で32回を迎えました。障害者の芸術活動支援の動きが盛んになり、多くの展覧会が開かれるようになっているなかでも、とても歴史のある展覧会のひとつです。

7月末、池袋の西武デパートで入選作品が展示され、去年に引き続き絵画工房たゆたうの作品が多数入選しました。なかでも伊藤賢士さんの「腹筋をきたえる女」が奨励賞、能登隆光さんの「ウッディベアと青いポット」が努力賞に入賞しました。

会場での「たゆたう」の作品は、どれも遠くからでもすぐにわかるほど、力強いタッチで描かれており、強く目を惹きました。すこしでも多くの方に作品を見てもらいたいと改めて感じました。これからも積極的に、発表の場をふやしていきたいと思っています。

○「障害者が企業で働くということ」を開催しました

10月9日（祝）に勉強会「障害者が企業で働くということ」を開催しました。

障害者雇用の第一線で活躍されている第一生命チャレンジド株式会社の梶野氏、就労支援センターひゅーまにあ相模原の冨張氏、実際に企業に就職されているご本人（あこの会卒業生）と保護者をお招きし、お話をお伺いしました。

参加者からは、「今までわかっているつもりでいた障害者雇用に関するキーワードのいくつかを丁寧に説明していただき、理解が深まりました」、「本人、家族にとっての想いを聴けて、働くこと、成長の意味を考えさせられました」などの感想をいただきました。

入会のご案内とご寄付のお願い

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、右記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員 年会費 10,000円
賛助会員 3口より（1口1,000円）

■ 振り込み先
郵便口座：
00100-5-296049
口座名称：
特定非営利活動法人 ピアネット北

■ お問い合わせ
TEL＆FAX：03-3905-7226

ピアネット北通信

peernet

2017（平成29）年10月発行　第26号

○ リョービ株式会社様より物品の寄付をいただきました！

リョービ株式会社様より重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」へ"冷蔵庫"と"ダイソン ホット＆クール"のご寄付をいただきました。

やじろべえは開所してから10年を迎え、使用していた冷蔵庫が少し不調に…。この機会に冷蔵庫を新調させていただきました。

また、体温調節が苦手な入居者のため脱衣所にダイソン ホット＆クールを設置させていただきました。これで寒い冬も暑い夏も快適に過ごすことができます。

リョービ株式会社様、ありがとうございました！

○ 袋自治会の防災訓練に参加しました

やじろべえ近くの保育園前の公園に9時に集合し、訓練場所の第四岩淵小学校へ移動し、11区の皆さんと通報訓練、炊き出し(見学・説明)、バケツ消化訓練、初期消火訓練、包帯法訓練、煙ハウス避難訓練の順に体験しました。

包帯法訓練に参加するため体育館に移動することになりスロープを上がっていくと、その先に階段が3段あり、11区の皆さんに手伝っていただき体育館へ、無事訓練に参加することができました。まわりの参加者の方々が、「なんでスロープがこんなに中途半端なんだ」、「校長や自治会長に話しとくよ」などと声をかけてくださり、毎年参加することの大切さを感じた出来事でした。

事務局
〒114-0003 北区豊島5-5-5-612
TEL&FAX：03-3913-9308

療育相談事業 あこの会
〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階
TEL&FAX：03-3900-6848

北区障害者地域自立生活支援室
〒114-0032 北区中十条1-2-18
TEL&FAX：03-3905-7226

重度身体障害者グループホーム やじろべえ
〒115-0052 北区赤羽北1-7-23
TEL&FAX：03-6657-9077

URL：http://www.peernet.or.jp/　E-mail：peernet@peernet.or.jp

ふだんの療育の様子を紹介します

現在、あこの会には、幼児から高校３年までの知的障害や発達障害の子どもたちが元気に通ってきています。今回は、ふだんの療育の様子をご紹介したいと思います。あこの会は、生活（身辺自立）、運動、認知学習、作業学習の４本立てで療育を行っています。今回は生活面の取り組みについてご紹介したいと思います。

■着替え

4歳のAちゃんは、自分で着替えをしようとしますが、Tシャツもズボンも脱いでパンツだけになり、脱いだ服も裏返しにしてしまいます。手を添えて裏返しにならないように介助をしながら、服を脱いだらすぐ着ることを教えています。

６年生のBくんは、ボタンのシャツをひとりで着られるよう取り組んでいます。ボタンがずれたり、エリが折り返せていなかったり、課題はたくさんありますが、鏡を見せながらおかしい所を子ども自身に気づかせるのが上達のコツです。ネクタイにもチャレンジし、中学生になったらスマートに制服を着こなせるようにしたいと思っています。

■食事

あこの会で、子どもたちが楽しみにしているのがお弁当です。1年生のDちゃんは、食べるのが大好き。でも、どんどん口のなかに次のおかずを入れてしまいがちで、口のまわりや手が汚れても気にしません。そばで噛む動きをオーバーに見せな

がらしっかりと噛むことを教え、汚れたときに気づかせながら自分で拭き取らせることで、少しずつですが、きれいに食べられるようになってきました。きれいに食べられたときにお母さんからもたくさんほめられ、今までよりも食べることが好きになってきたようです。

療育では、言葉のことについての相談を多く受けます。食事のことと言葉のことを関係ないと捉えている保護者の方も多いのですが、いろいろな食べ物を噛むことは、口や舌の動きをよくすることにもつながり、言葉の発達を促すこととも関係しています。

しっかりと噛むことだけでなく、スプーンやお箸などの道具を扱うこと、背すじを伸ばしてよい姿勢で食べること、苦手なものでも食べられるようにすることなど、食事はたくさんのことを学ぶ機会でもあります。

意外に思われるかもしれませんが、就労においては、作業のスキル以上に生活面のスキルが整っていることが重視されます。着替えも食事も、マナーを意識しながらひとりでできるようになるまでには、たくさんの時間がかかります。しかし、いったんきちんと身につけさせれば、一生使える力になります。

私たちは子どもたちの成長を信じて、教え方も工夫しながら焦らずに教えていきたいと思っています。

大洗に行ってきました

バリアフリー旅行は今回で18回目を数えます。今年は、9月の週末に、総勢18名で、茨城県の大洗方面を旅してきました。

一日目は、あいにくの雨のなかの始まりでした。朝、東京都障害者総合スポーツセンターを出発し、「明治なるほどファクトリー」守谷工場へ。みなさんもヨーグルトなどでお世話になっているのではないでしょうか。ウェルカムドリンクのヨーグルトを飲みながら、工場の説明を聞きました。この守谷工場というのは、関東に出荷される乳製品を一手に製造する工場だそうです。

みんなでぞろぞろと工場内に。車イスでも見学しやすいよう通路はゆるやかなスロープになっています。入口付近にあるトイレは、手を洗わないと自動ドアで出られないようになっており、その衛生管理にも感心しました。ガラス越しに眺めヨーグルトの製造ラインは、その速さにビックリ。止まらぬ機械の動きをみんな食い入るように見ていました。男性陣は帰り際に工場案内のお姉さんと集合写真を撮り、ご満悦の様子でした。

お昼は、友部サービスエリアに寄り、それぞれ食べたいものを満喫しました。おみやげを買ったり、コーヒーショップで休憩したり、思い思いにのんびり過ごしました。

予定より少し早く「かんぽの宿大洗」に到着し、ゆっくり温泉を楽しんだり、散歩をしたりしました。車イスをつかう方でも入れるようにつくりが

バリアフリーになっているのがここのいいところ。散歩チームは、マリンタワーでは物足りず、「かねふくめんたいパーク」まで足を伸ばしました。工場で作られたばかりの冷凍前の明太子が試食できるので、みんな一列に並んで、明太子に舌鼓を打ちました。

夜の宴会は豪華な食事とお酒で、皆さんリラックスムードに。夕食のあとは、みんなお待ちかねのカラオケ大会です。懐メロから最近の流行歌まで、歌ったり踊ったり大盛り上がりでした。カラオケで力を使い切ってしまったのか、二次会は少人数でチビチビ飲みながら語り合いました。

二日目は快晴でした。かんぽの宿を出発し、「こもれび森のイバライド」でバーベキューをしました。3つの大きなテーブルにわかれて、お肉や野菜を焼きながら、青空の下でみんなでワイワイ楽しく食事をしました。

バーベキューのあとの自由行動では、散歩をしたり、動物とふれあったり。動物が好きな方が、馬に乗ったりヤギに餌をあげたり楽しんでいるのにつられ、動物が苦手な参加者もこわごわ近づいているのが印象的でした。みんなで食べたソフトクリームは、とてもおいしく感じました。

帰りのバスもスムーズで予定よりはやくスポーツセンターに帰ってきました。「また来年も行きましょう」と参加された方が口々に言っていて、充実の2日間だったと感じました。参加してくださったみなさん、ありがとうございました。